

曖昧な言葉

お盆休みは自粛するのか、里帰りをしていいのか、意見が分かれています。

曖昧にすると、誰も責任をとらずに済むからです。

最初の人間の妻であるエバは、神が食べると必ず死ぬと言われた知恵の実を見ていました。

エバの傍に蛇が近づいて来て、「園の木のどれからも食べてはならない、と

神は本当に言われたのですか。」と囁きました。エバは蛇に「園の木の実を

食べてもよいが、園の中央の木の実だけは食べても、触れてもいけない。

死ぬと行けないからだ。」と答えました。知恵の実を食べたら死ぬかも知れ

ないと曖昧な返事をしたのです。すると、蛇はエバに「あなたは決して死にません。

食べると目が開かれて神のように賢くなる。」と唆され、遂に食べてしまい、夫のアダムにも食べさせ、人類に

死が入ってきました。

このようにエバの曖昧な答弁により、人類に罪が入る機会となったのです。

そしてコロナの現在、曖昧な言葉により、オリンピックどころか国家の衰退の引き金となっています。

お盆休みの里帰りを自粛するなら、感染者は劇的に減り、コロナは終息に向かう。

しかし、自粛解除するなら、経済は回復するが、感染者は全国的に増加して、医療体制が崩壊するかもしれない。

とはっきり宣言しなければなりません。